

保育学部保育学科 赤塚めぐみゼミの活動

1. ひまわり講座

この活動は、静岡県ことばと心を育む会の主催・常葉大学の後催で、毎年夏休みに実施されています(2020年度はコロナ禍のため中止)。お昼を挟んだ1日のプログラムで、午前中は、夏休みの宿題や苦手な学習課題に、学生ボランティアと一緒に取り組みます。午後は、友だちや学生ボランティアと協力して、ひとつのミッションに取り組むスタンプラリーに取り組みます。

この活動に参加する子ども達は、どの子も小学校に設置される通級指導教室を利用しています。コミュニケーションや学習など、様々な苦手さがあるために通級を利用していますが、反面、得意なこともたくさんある子どもたちです。毎年、初めて出会う学生ボランティアとも打ち解けて、楽しい1日を過ごします。学生は、この活動を通じて、子どもたちの発達の多様性や接し方を学びます。過去の活動の様子は、以下の URL からご覧いただけます。

- 2019年度ひまわり講座 静岡県ことばと心を育む会(東部)の Facebook ページより
<https://www.facebook.com/888523261257513/posts/2287338961375929/>
- 2017 年度ひまわり講座 本学ホームページ
<https://www.tokoha-u.ac.jp/news/170825/>

2. とこは未来塾

この活動は、本学の地域貢献センターが全面的にサポートしていますが、保育学部の学生が参画に対して、幼児教育支援センターも応援しています。

とこは未来塾の趣旨は、本学ホームページの「地域連携」のサイトをご参照ください(<https://www.tokoha-u.ac.jp/community/>)。

赤塚ゼミは、障害があるなど、生活する上で困り感のある子どもたちのより良い生活を目指して、地域貢献活動に取り組んでいます。主な活動の内容は、以下の通りです。

- 2020年度 赤塚ゼミプロジェクト「コロナウイルスに負けないぞ！～みんなで守って げんきっず～」
この活動は、2020年の1月から私たちに強い影響を及ぼし続けている新型コロナウイルスについて、保育現場での現状と課題を明らかにするために企画しました。
保育所や幼稚園等に通う子どもたちを守るために、現場の保育者がどのような苦勞を抱え、工夫を試みたかを整理しました。県内 81 か所の保育施設から、528 名の保育者が協力してくださりました(詳細は、以下 URL にて公開されている報告書 24—26 ページをご参照ください)。

https://www.tokoha-u.ac.jp/media/2020-miraijuku_houkokusho2.pdf

また、本企画を通じて、幼児向けに作成した啓発動画「げんきっずプロジェクト」は、以下の URL からご覧いただくことができます。

<https://www.youtube.com/channel/UCBwCnoVJ9qKmYITKQWHU EA>

- 2018年度 赤塚ゼミプロジェクト「目指せ！！憧れのファッションモンスター. ～僕・私だってオシャレしたい～」

この活動は、障害のある子どもたちにとって、さまざまな理由から日常的な「おしゃれ」が制限されているのではないかという疑問から始まりました。その後、特別支援学校や放課後等デイサービスを利用するお子さんたちや支援者に調査を行いました。その結果、障害児の「おしゃれ」よりも、子ども自身の感覚過敏による衣服素材の限定、体のマヒによるデザインの限定、介助者の都合による利便性の良さなどが優先される傾向のあることが分かりました。そして、調査にご協力いただいた2組のご家族とともに、「着てみたい衣装の追求」を行い、その衣装を着て、大学付近の草薙商店街が主催する「うどハロウィン」の仮装コンテストに参加しました。

別紙参照 (PDF:ファッションモンスター_静岡新聞 181028 掲載)